



2022年4月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署



羽田空港貨物取扱量

総取扱量は3ヵ月連続減、積込量は4ヵ月連続減、取卸量は2ヵ月連続減

概要

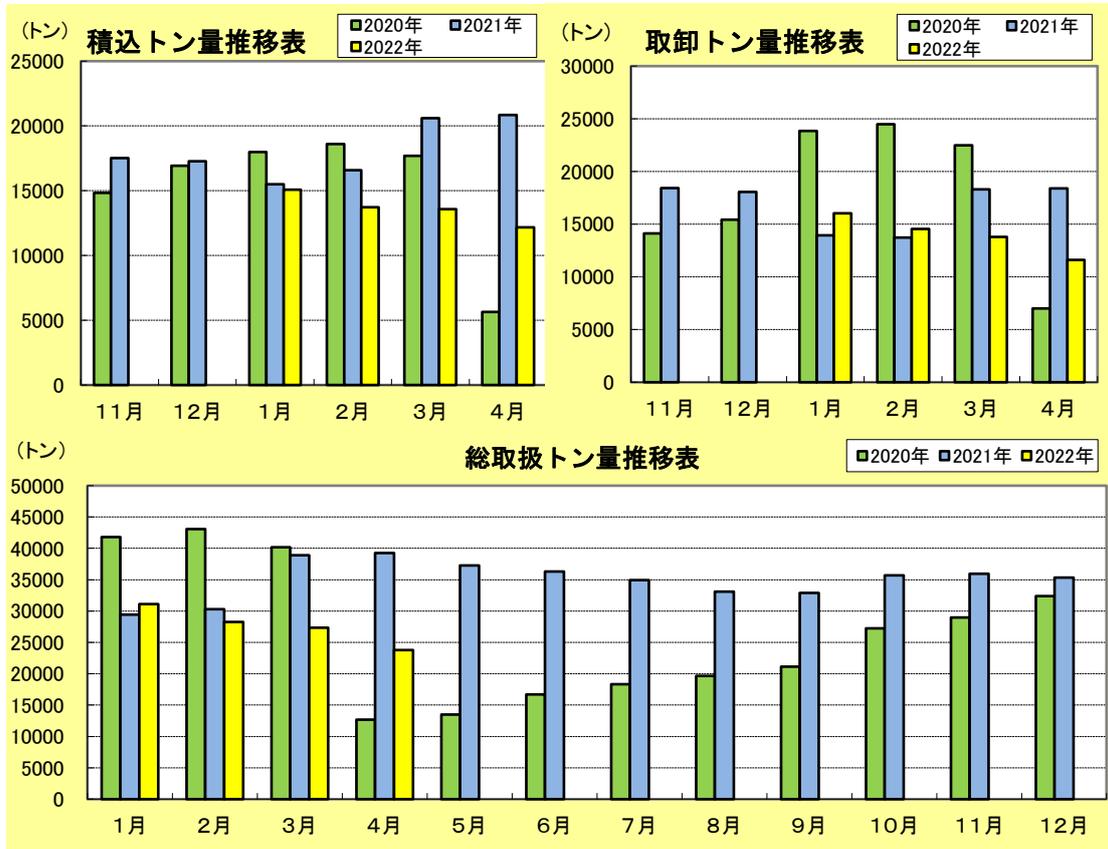
2022年4月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 23,782トン(前年同月比 39.4%減)

積込量 12,163トン(同 41.7%減)

取卸量 11,619トン(同 36.8%減)

となり、前年同月比でみると、総取扱量は3ヵ月連続、積込量は4ヵ月連続、取卸量は2ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 856トン(前年同月比 24.6%減、シェア 11.4%)

その他地域通関 6,620トン(同 33.4%減、同 88.6%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は2カ月連続、その他地域通関は3カ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,347トン(前年同月比 38.6%減、シェア 47.4%)

その他地域通関 3,718トン(同 38.1%減、同 52.6%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、2カ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 4,687トン(前年同月比 52.1%減)

取卸量 4,554トン(同 34.3%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量は5カ月連続でマイナス、取卸量は4カ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年4月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 794トン(前年同月比 18.6%減、シェア 23.7%)

ドライ貨物 2,553トン(同 43.0%減、同 76.3%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等30.6%(前年同月比32.1%増)、水産物19.0%(同63.2%減)、果物17.9%(同11.4%減)、植物(切花等)16.0%(同53.3%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年4月			2021年4月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	3,347	61.4%	100.0%	5,451	189.1%	100.0%
生鮮	794	81.4%	23.7%	975	144.7%	17.9%
ドライ	2,553	57.0%	76.3%	4,476	202.7%	82.1%